

令和 5 年

高松市教育委員会 1 2 月定例会

会 議 録 (抄本)

1 2 月 2 1 日 (木) 開会

1 2 月 2 1 日 (木) 閉会

出席した教育長及び委員			
教育長	小 柳 和 代		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	小 方 朋 子		
	和 泉 憲		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
委 員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	河 野 佳 代	美術館美術課長	中 北 浩 之
教育局参事	一 原 玄 子	文化財課長	川 畑 聰
教育局次長 総務課長事務取扱	長 谷 山 隆 義	文化財課長補佐	波 多 野 篤
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	合 田 紀 子	総務課長補佐	春 日 布 三
学校施設整備室長	川 西 正 晃	総務係長	別 所 里 美
学校教育課長	山 地 芳 樹		
保健体育課長	岩 佐 孝		
保健体育課主幹	森 井 瑞 樹		
保健体育課長補佐	山 下 裕 文		
生涯学習センター副館長 補佐	藤 目 祐 一		
人権教育課長	濱 井 康 紀		
総合教育センター所長	宮 脇 充 広		
I C T教育推進室長	西 村 福 和		
会議録署名委員	吉 澤 潔		
事務局担当書記	岡 谷 有 紗		

【特記事項】 傍聴人2名

議 事 日 程（1 2 月 定 例 会）

- 日程第1 議案第31号 高松市ふれあい創作館条例施行規則の一部改正について
- 日程第2 議案第32号 高松市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について
- 日程第3 議案第33号 高松市石の民俗資料館及び石匠の里公園条例施行規則及び高松市香南歴史民俗郷土館条例施行規則の一部改正について
- 日程第4 議案第34号 高松市塩江美術館条例施行規則の一部改正について
- 日程第5 報告事項
- 1 令和5年第6回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について
 - 2 令和5年第6回高松市議会定例会答弁要旨について
 - 3 令和5年度学校訪問の報告について
 - 4 高松市地域部活動検討委員会について
 - 5 令和5年度学校医等の感謝状贈呈について
 - 6 英語版「高松わくわくかるた」について
 - 7 「第5回TAKAMATSUこどもサミット」の参加者募集について

【令和5年12月21日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に吉澤委員を指名。

日程第1 議案第31号

議案第31号 「高松市ふれあい創作館条例施行規則の一部改正について」

生涯学習課長から、高松市ふれあい創作館条例施行規則の一部改正について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 議案第32号

議案第32号 「高松市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について」

生涯学習センター副館長補佐から、高松市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第3 議案第33号

議案第33号 「高松市石の民俗資料館及び石匠の里公園条例施行規則及び高松市香南歴史民俗郷土館条例施行規則の一部改正について」

文化財課長から、高松市石の民俗資料館及び石匠の里公園条例施行規則及び高松市香南歴史民俗郷土館条例施行規則の一部改正について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第4 議案第34号

議案第34号 「高松市塩江美術館条例施行規則の一部改正について」

美術館美術課長から、高松市塩江美術館条例施行規則の一部改正について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第5 報告事項

報告事項1 「令和5年第6回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について」

教育局総務課長から、令和5年第6回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項2 「令和5年第6回高松市議会定例会答弁要旨について」

教育局長から、令和5年第6回高松市議会定例会答弁要旨について説明。

<質疑>

- 委員 特別支援教育については、皆さんの関心が高いと感じました。特別支援教育対象の児童生徒数が増加してきているため人手が足りず、学校生活支援員を増やしてほしいという話になりがちですが、それに並行して、教育の質や教員の力量の確保、教員への研修を大事にしていきたいと思います。

 - 教育長 特別支援教育の視点で、学校生活支援員の増加についての質問が多々ありました。学校生活支援員の確保と教員の資質向上に一生懸命取り組んでまいりたいと思います。
-

報告事項3 「令和5年度学校訪問の報告について」

学校教育課長から、令和5年度学校訪問の報告について説明。

<質疑>

- 委員 G I G A端末の活用については学校間の格差があり、中学校での活用が遅れていると思いましたが、子どもたちは非常に慣れており、G I G A端末の使用に対する抵抗感はあまりないと感じました。しかし、子どもによってはG I G A端末の使用が苦手な子もいると思うので、子どもたち一人一人の状況をもう少し細かく見て、把握してほしいと思いました。また、訪問した学校にはシビックプライド醸成のモデル校になっている学校がありましたが、モデル校ではなくても地域の方たちの人材を活かした取組や活動をされている学校があり、伝統文化を学ぶだけでなく、地域の人たちが自分たちにどのように関わってくれているのかということを知ることは非常

に大事なことなので、いい取組だと思いました。

- 委員 G I G A端末の活用については、私も各校に格差があると思いました。また、G I G A端末の使用に伴う環境がまだ整ってないのではないかと感じました。充電は夜間しか使用できないのですか。昼間に充電が十分でなくなることや、充電ができない学校があると伺いましたので、難しいとは思いますが、そういった環境整備をする必要があると思いました。
- 学校教育課長 夜間に充電器に繋いでおくのと夜間に充電されるので、翌日には満充電の状態です。途中で充電が無くなった場合には、充電器に繋いでいても充電が間に合わないということも確かにあると思います。そのようなシステムのことについても含めて、総合教育センターと連携しながら今後使いやすいように改善していきたいと思います。
- 委員 電子黒板は子どもたちに見やすく、分かりやすく良いと思いましたが、教える側の差を感じました。電子黒板のような I C T機器を活用し、どのようにして子どもたちの興味を引くかが大切だと思いますので、教職員の勉強会等を更に進めたいと思います。
- 委員 O J Tをととても大事にしている学校がありました。若手の教員が増えてきている中、働き方改革で遅くまでは残れないとなると、どのように若手を育てて授業力を向上させるのか、学級経営をどうしていくのかというのを、O J Tの機会に伝えていると校長先生がお話されていたのが印象的でした。校内研修も様々な工夫がされているのだと感じました。
- 委員 設備面における学校間の格差を感じました。生徒が多い中学校へ訪問しましたが、プレハブ教室で授業をしていました。プレハブ教室の出入口が兼用の上、1か所しかない教室が4か所程度ありましたが、もしものことがあったときどうするのだろうかと思いました。そのように設備面が暫定措置だけで終わっている感じがする学

校があると思いましたが。それに比べて、高松市中心部の大きい小・中学校は非常に環境が整っており、学校の設備面を均等にする努力が必要だと思います。何校かの特別支援学級からは、電子黒板等の設置を要望されたことがありましたので検討をお願いします。また、K S Rとは、何のことですか。

- 学校教育課長　　これまで、高松市の学校では、学校に来づらい子や教室に入りづらい子が学ぶ場を提供していましたが、学級担任のように固定的に先生が就くという余力がないのが現状です。今回、県の教育委員会のモデル事業で、そのような場に担当の教員を設置するという事業が始まりました。それがK S Rという事業になります。

 - 委　　員　　K S Rは何の略ですか。

 - 教 育 長　　校内サポートルームです。
-

報告事項4 「高松市地域部活動検討委員会について」

保健体育課長から、高松市地域部活動検討委員会について説明。

<質疑>

- 委　　員　　アンケート結果から見て、生徒第一で考えると、部活動の地域移行はなかなか進まないのではないかと思います。しかし、部活動の指導に負担を感じる教職員は多く、働き方改革も必須であり、教職員がこれ以上大変になると教職員のなり手が減ってしまうと思いますので、生徒と保護者第一で考えるとこの話は進まないで、ぜひ両輪で考えていただきたいと思います。また、生徒にとって競技力の向上も大事だと思いますが、学校の先生以外の大人と関わる場所を作る、クラス以外の居場所が

あるというのを部活動が担っているところでもあるので、競技力の向上だけではない居場所づくりという方向性で何らかの策ができるのではないかと思います。スポーツだけ、文化系だけではなく、地域のボランティア活動等も視野に入れて考えていただきたいと思っています。

○ 教 育 長 居場所という御意見がありました。これまでであれば、部活動と言えば試合であるとか、勝つというのが先に来る傾向がありましたが、子どもたちに放課後の時間をどのように過ごしたかと尋ねると、料理を習いたいとかそういう子が意外と多かったです。御指摘のように、本気でスポーツをしたい子もいるでしょうし、何か居場所的なものを求めている子もいるように感じます。

○ 保健体育課長 現在、子どもたちからのニーズも結構多かったので、TESCというストリートダンスを種目とした市主催モデルを立ちあげています。これは、市内の中学校全域で募集しております。今回、参加する子がダンスをしたことがないから良いという理由で申し込んでくれた生徒がいました。練習風景を見ていると、その生徒のダンスの表現力がどんどん向上して、1時間でそういった変化が見られたので、部活とは違った子どもの内面を引き出すようなものも必要だと感じました。来年度も継続していきたいと思っています。また、そのような活動を更に広げて、増やしていきたいと思っています。勝利のためだけではなく、個の内面を引き出すような活動を広げていきたいと思っています。

○ 委 員 市主催モデルの参加者は、4名だけなのですか。

○ 保健体育課長 当初は30名を目標にしていたのですが、なかなか集まらなかったため、5名で開始しましたが、後期は15名の生徒が集まっています。今後は、当初掲げていた30名を目標に、また募集していこうと思っています。

○ 委 員 募集はどのように行ったのですか。

- 保健体育課長 募集は、各学校の校長先生方をお願いして、パンフレットを配布して募集しています。また、パンフレットに掲載している二次元コードを読み取ると、直接市教育委員会への申し込みができるようになっております。

 - 委員 参加してくれている生徒は、近くの学校に通っている子が多いのですか。

 - 保健体育課長 初めは開催場所が瓦町FLAGということもあり、近隣の学校の生徒が多かったのですが、現在は離れた校区の生徒も参加してくれています。現在の開催場所は高松市総合体育館で、高松市中心部からは少し離れましたが、送迎する保護者も一緒に見れる場を提供しておりますので、市内全域で少しずつ広がっているという状況です。

 - 委員 普段、部活動に参加している子が来ているのですか。それとも所属していない子が来ているのですか。

 - 保健体育課長 部活動に所属している子も所属していない子も来ています。運動部だけではなく文化部の子も参加してくれており、ダンスがしたい子どもたちが集まっています。指導者が昔バックダンサーとして踊られていた方なのでダンスが非常に上手で、子どもたちも楽しんで踊っています。

 - 委員 地域部活動についてテレビで拝見しましたが、地域の格差や競技の格差が出て、難しいと思いました。学校間に極端な格差がないような取組をしていただきたいです。また、モデル校は集中させるのではなく、広く浅くでいいのでモデル校をもっと増やし、様々な情報を入手し、地域移行を進めていけば良いと思いました。
-

報告事項5 「令和5年度学校医等の感謝状贈呈について」

保健体育課長から、令和5年度学校医等の感謝状贈呈について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項6 「英語版『高松わくわくかるた』について」

生涯学習課長から、英語版「高松わくわくかるた」について説明。

<質疑>

- 教 育 長 毎年の2月の新春こどもフェスティバルでは、日本語版でしていましたが、英語版を取り入れるのはいつからですか。

 - 生涯学習課長 今年度の新春こどもフェスティバルでは難しいですが、デモンストレーションで、英語版を使おうと思っています。
-

報告事項7 「『第5回TAKAMATSUこどもサミット』の参加者募集について」

生涯学習課長から、「第5回TAKAMATSUこどもサミット」の参加者募集について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

午前10時38分 閉会

議決事項

「高松市ふれあい創作館条例施行規則の一部改正について」

「高松市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について」

「高松市石の民俗資料館及び石匠の里公園条例施行規則及び高松市香南歴史民俗郷土館条例施行規則の一部改正について」

「高松市塩江美術館条例施行規則の一部改正について」